

校長室から

(R8.3月)

～おもいをのせて～

文責：菅 昌徳

卒業証書授与式



3月13日（金）本校・分教室それぞれに卒業式を行いました。本校は小学部5名、中学部9名、分教室は中学部8名が学び舎から巣立ちました。来賓、保護者の方



や関係者の方がたくさんいらっしゃる中、顔を上げ、胸を張って真剣なまなざしで入場する姿に「始まる」という緊張感と「入場できた」という安堵感が同時に湧き上がってきました。そんな私の心の中には、一人一人の顔を見ながら笑顔になっているもうひとりの自分がいました。卒業証書授与では、それぞれができる最大限の力で呼名に応え、私の顔を見て証書を受け取ってくれました。緊張の中での式が終わり、退場の際の児童生徒たちの笑顔がとても印象的でした。未来に向かって自分の思いを大きく抱き、持てる力いっぱい翼を広げて飛び立とうとしている児童生徒たちの後姿は、輝いてとても素敵でした。

卒業生へのメッセージを式辞から抜粋

小学部を卒業するみなさん、いよいよ4月からは中学生として新しい学びがスタートします。これまでに学んだことを自分の力として中学校生活のいろいろな事に興味関心をもって「やってみよう」という思いでどんなことにも挑戦していきましょう。（中略）中学部を卒業するみなさんは義務教育課程を終え、自分の描く将来の夢や憧れの実現に向けてそれぞれが選んだ道を歩んでいくことになります。君たちがこれまでの9年間で培ってきた学びは、これからの学びの基盤として新たな自己実現に向けた力となっていくことでしょう。道の先にはたくさんの楽しいことやうれしいことが待っています。それと同じくらいの辛いことや嫌なこともあるでしょう。「努力とは挑戦し続けることである」という言葉があります。どんな時でも自分の夢の実現に向けて何事にも自分を信じて、助けてくれる周りの人と共にやり続ける力を身に付けていきましょう一人ひとりが輝いて羽ばたいてくれることを願っています。

それでは卒業生のみなさん、新たなステージの扉を自分で開き、目の前にある希望の道を、胸を張り、思いを込めてじっくり、ゆっくり、堂々と進んでいきましょう。みなさんの輝かしい未来を祈念して式辞といたします。

最後に 「 ケセラセラ 」 きょうまくいくと信じて、
自分らしく羽ばたいてください。

